



2024年度（2025年3月期）  
第1四半期決算

# 参考資料

2024年8月2日  
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-5122

<https://www.eisai.co.jp/>

## [将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

## 目 次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

### 為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2023年度 第1四半期	期中平均レート	137.36	149.46	171.91	19.56
	期末日レート	144.99	157.60	182.95	19.94
2023年度 通期	期中平均レート	144.62	156.79	181.75	20.14
	期末日レート	151.41	163.24	191.22	20.83
2024年度 第1四半期	期中平均レート	155.88	167.88	196.85	21.47
	期末日レート	161.07	172.33	203.48	22.04
2024年度	予想レート	145.00	155.00	180.00	20.40

- ・ 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- ・ 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、インド、アセアン、中南米等）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。  
2024年度において、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映しています。2023年度のセグメント情報は、当該変更を反映しています。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

## 1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2023年度				2024年度				2024年度	
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	1,969	100.0	7,418	100.0	1,890	100.0	96.0	△79	7,540	100.0
売上原価	439	22.3	1,553	20.9	398	21.0	90.5	△42	1,705	22.6
売上総利益	1,530	77.7	5,864	79.1	1,493	79.0	97.6	△37	5,835	77.4
販売費及び一般管理費	861	43.7	3,744	50.5	995	52.7	115.6	135	3,825	50.7
販売費	450	22.9	1,940	26.1	513	27.1	114.0	63	—	—
人件費	260	13.2	1,175	15.8	327	17.3	125.7	67	—	—
管理費他	151	7.7	630	8.5	156	8.2	103.1	5	—	—
研究開発費	411	20.9	1,690	22.8	417	22.1	101.4	6	1,675	22.2
その他の収益	6	0.3	120	1.6	55	2.9	861.9	49	200	2.7
その他の費用	4	0.2	16	0.2	1	0.1	29.4	△3	—	—
営業利益	260	13.2	534	7.2	134	7.1	51.5	△126	535	7.1
金融収益	28	1.4	108	1.5	33	1.7	117.5	5	—	—
金融費用	5	0.3	24	0.3	7	0.4	135.0	2	—	—
税引前四半期（当期）利益	283	14.4	618	8.3	160	8.4	56.5	△123	600	8.0
法人所得税	74	3.7	180	2.4	45	2.4	60.4	△29	—	—
四半期（当期）利益	209	10.6	438	5.9	115	6.1	55.1	△94	445	5.9
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	203	10.3	424	5.7	106	5.6	52.0	△98	430	5.7
非支配持分	6	0.3	14	0.2	9	0.5	165.4	4	—	—

四半期（当期）包括利益	684	34.7	1,228	16.6	526	27.8	76.9	△158
-------------	-----	------	-------	------	-----	------	------	------

EPS（円）	70.92	147.86	36.95	152.50
DPS（円）	—	160.0	—	160.0
ROE（%）	—	5.1	—	5.2
DOE（%）	—	5.5	—	5.5

- ・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。
- ・EPS：基本的1株当たり四半期（当期）利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率
- ・2024年5月15日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2024年度の通期予想におけるEPSについては、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

### <コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗がん剤「レンビマ」、不眠症治療剤「デエビゴ」およびアルツハイマー病（AD）治療剤「レケンビ」が引き続き伸長</li> <li>・2023年6月にヒト型抗ヒトTNF<math>\alpha</math>モノクローナル抗体「ヒュミラ」の共同販促契約が満了：前年同期133億円</li> <li>・前年同期に選択的エストロゲン受容体分解薬elacestrantに係る経済的収益受領権の譲渡に伴う一時金123億円を計上</li> </ul>
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上：当期 384億円、前年同期 323億円</li> </ul>
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制（パートナー負担額：当期 173億円、前年同期 141億円）</li> </ul>
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗体薬物複合体farletuzumab ecteribulinに関するBristol Myers Squibb（以下 BMS社）との戦略的提携契約の終結に伴い、預り金の取崩益48億円を計上</li> </ul>
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上収益：+143.8億円、営業利益：+4.5億円</li> </ul>
■為替感応度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上収益：米ドル +17.9億円、ユーロ +3.0億円、英ポンド +0.7億円、人民元 +54.4億円</li> <li>（1円の円安に対しての年間影響額）</li> <li>・営業利益：米ドル △4.0億円、ユーロ +1.4億円、英ポンド △0.5億円、人民元 +32.2億円</li> </ul>

## 2. セグメント情報

### 1) 売上収益

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,817	6,915	1,866	102.7	94.9
日本 医薬品事業	645	2,169	528	81.9	81.9
アメリカス 医薬品事業	543	2,324	698	128.4	113.2
米国	533	2,269	683	128.2	113.0
中国 医薬品事業	316	1,119	302	95.6	87.0
EMEA 医薬品事業	187	760	195	104.5	93.7
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	127	542	143	112.3	103.6
その他事業	152	503	25	16.3	14.6
連結売上収益	1,969	7,418	1,890	96.0	88.7

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

### 2) セグメント利益

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	891	3,242	912	102.3	94.0
日本 医薬品事業	223	710	191	85.6	85.6
アメリカス 医薬品事業	339	1,382	412	121.5	108.1
中国 医薬品事業	185	566	156	84.3	75.5
EMEA 医薬品事業	88	356	88	100.7	93.2
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	57	228	65	114.5	103.5
その他事業	132	402	11	8.7	7.3
研究開発費	△371	△1,496	△365	98.4	91.5
親会社の本社管理費等	△391	△1,614	△424	108.3	96.6
連結営業利益	260	534	134	51.5	49.8

・パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を親会社の本社管理費等に含めています。

### 3. 報告セグメント別情報

#### 1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	645	2,169	528	81.9
医療用医薬品	587	1,943	475	80.8
一般用医薬品等	57	227	53	93.1
セグメント利益	223	710	191	85.6
<b>日本 医療用医薬品 主力品売上収益</b>				
不眠症治療剤 デエビゴ	81	355	102	125.0
ヤヌスキナーゼ阻害剤 ジセレカ	30	126	35	116.7
抗がん剤 レンビマ	41	155	34	82.2
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	25	95	22	86.4
慢性便秘症治療剤 ゲーフィス*	18	70	20	111.9
抗てんかん剤 フィコンパ	18	69	19	107.0
抗がん剤 ハラヴェン	21	79	19	88.4
慢性便秘症治療剤 モビコール*	16	66	19	114.9
成分栄養剤 エレンタール*	19	71	18	97.0
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	15	58	16	110.9
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	—	4	15	—
<b>日本 一般用医薬品等 主力品売上収益</b>				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	37	150	35	94.4

\*EAファーマの取り扱い製品です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米)

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	543	2,324	698	128.4
米国	533	2,269	683	<113.2>
セグメント利益	339	1,382	412	<113.0>
<b>アメリカス 主力品売上収益</b>				
抗がん剤	481	2,041	598	124.2
レンビマ				<109.5>
米国	479	2,025	592	123.8
(百万米ドル)	(348)	(1,400)	(380)	<109.1>
アルツハイマー病治療剤	1	38	46	6427.0
レケンビ				<5663.4>
米国	1	38	46	6427.0
(百万米ドル)	(1)	(27)	(29)	<5663.4>
抗がん剤	29	124	27	92.3
ハラヴェン				<81.3>
米国	28	121	26	92.6
(百万米ドル)	(21)	(84)	(17)	<81.6>
不眠症治療剤	10	51	15	141.1
デエビゴ				<125.5>
米国	6	26	7	129.5
(百万米ドル)	(4)	(18)	(5)	<114.1>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	316	1,119	302	95.6 <87.0>
セグメント利益	185	566	156	84.3 <75.5>
<b>中国 主力品売上収益</b>				
抗がん剤 レンビマ	69	269	70	101.8 <92.6>
めまい・平衡障害治療剤 メリスロン	37	132	45	120.8 <110.0>
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	38	126	30	79.2 <72.1>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	16	69	21	132.4 <120.5>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	17	71	19	115.5 <105.2>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	26	82	9	35.7 <32.5>
抗てんかん剤 フィコンパ	26	35	9	33.2 <30.2>
抗がん剤 ハラヴェン	6	20	6	96.7 <87.9>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	—	0	2	— <—>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	187	760	195	104.5 <93.7>
セグメント利益	88	356	88	100.7 <93.2>
<b>EMEA 主力品売上収益</b>				
抗がん剤 レンビマ／Kispalyx	90	382	101	111.3 <99.7>
抗てんかん剤 フィコンパ	31	128	40	130.3 <116.7>
抗がん剤 ハラヴェン	30	117	24	78.9 <70.0>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	127	542	143	112.3 <103.6>
セグメント利益	57	228	65	114.5 <103.5>
<b>アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益</b>				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	32	135	38	118.4 <109.2>
抗がん剤 レンビマ	26	130	33	127.3 <115.0>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	13	50	12	91.8 <85.4>
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	10	44	9	92.2 <86.1>
抗がん剤 ハラヴェン	8	35	9	106.7 <93.5>
抗てんかん剤 フィコンパ	5	19	5	110.3 <99.2>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

#### 4. 主力品売上収益

##### 1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
ニューロロジー領域製品計	367	1,457	443	120.8 <114.1>
デエビゴ (不眠症治療剤)	94	418	121	129.0 <126.8>
日本	81	355	102	125.0
アメリカス	10	51	15	141.1 <125.5>
フィコンパ (抗てんかん剤)	81	259	74	91.1 <84.2>
日本	18	69	19	107.0
中国	26	35	9	33.2 <30.2>
EMEA	31	128	40	130.3 <116.7>
アジア・ラテンアメリカ	5	19	5	110.3 <99.2>
アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)	62	254	69	111.5 <102.9>
中国	16	69	21	132.4 <120.5>
アジア・ラテンアメリカ	32	135	38	118.4 <109.2>
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	78	283	66	84.9 <80.5>
日本	25	95	22	86.4
中国	38	126	30	79.2 <72.1>
アジア・ラテンアメリカ	10	44	9	92.2 <86.1>
レケンビ (アルツハイマー病治療剤)	1	43	63	8784.5 <7992.1>
日本	—	4	15	—
アメリカス	1	38	46	6427.0 <5663.4>
中国	—	0	2	— <—>
その他	53	200	52	98.5 <93.1>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
<b>オンコロジー領域製品計</b>	824	3,432	941	114.2 <102.0>
<b>レンビマ/Kisplyx (抗がん剤)</b>	708	2,976	835	118.1 <105.2>
日本	41	155	34	82.2
アメリカス	481	2,041	598	124.2 <109.5>
中国	69	269	70	101.8 <92.6>
EMEA	90	382	101	111.3 <99.7>
アジア・ラテンアメリカ	26	130	33	127.3 <115.0>
<b>ハラヴェン (抗がん剤)</b>	95	375	84	88.7 <80.9>
日本	21	79	19	88.4
アメリカス	29	124	27	92.3 <81.3>
中国	6	20	6	96.7 <87.9>
EMEA	30	117	24	78.9 <70.0>
アジア・ラテンアメリカ	8	35	9	106.7 <93.5>
<b>その他</b>	22	81	22	99.9 <91.2>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2024年度）

（億円）

	2023年度		2024年度	
	1Q	通期	1Q	通期予想
<b>日本</b>	645	2,169	528	2,180
<b>医療用医薬品</b>	587	1,943	475	1,955
デエビゴ(不眠症治療剤)	81	355	102	440
レンビマ(抗がん剤)	41	155	34	150
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	—	4	15	100
メチコパール(末梢性神経障害治療剤)	25	95	22	85
フィコンパ(抗てんかん剤)	18	69	19	80
グーフィス*(慢性便秘症治療剤)	18	70	20	75
ハラヴェン(抗がん剤)	21	79	19	70
エクフィナ(パーキンソン病治療剤)	15	58	16	70
モビコール*(慢性便秘症治療剤)	16	66	19	70
エレンタール*(成分栄養剤)	19	71	18	65
<b>一般用医薬品等</b>	57	227	53	225
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	37	150	35	150
<b>アメリカス</b>	543	2,324	698	2,665
<b>米国</b>	533	2,269	683	2,600
<b>中国</b>	316	1,119	302	1,090
<b>EMEA</b>	187	760	195	745
<b>アジア・ラテンアメリカ</b>	127	542	143	565
<b>その他</b>	152	503	25	295
<b>連結売上収益</b>	1,969	7,418	1,890	7,540
<b>主要品目の売上収益</b>				
<b>レンビマ/Kisplyx</b>	708	2,976	835	2,965
日本	41	155	34	150
アメリカス	481	2,041	598	2,040
中国	69	269	70	240
EMEA	90	382	101	395
アジア・ラテンアメリカ	26	130	33	140
<b>レケンビ</b>	1	43	63	565
日本	—	4	15	100
アメリカス	1	38	46	435
<b>デエビゴ</b>	94	418	121	520
日本	81	355	102	440
アメリカス	10	51	15	65
<b>フィコンパ</b>	81	259	74	270
日本	18	69	19	80
中国	26	35	9	35
EMEA	31	128	40	135
アジア・ラテンアメリカ	5	19	5	20

\* EAファーマの取り扱い製品です。

## 6. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期（当期）利益	209	438	115	55.1	△94
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	35	17	1	3.3	△34
確定給付制度に係る再測定	—	54	—	—	—
小計	35	71	1	3.3	△34
損益にその後に振り替えられる可能性 のある項目					
在外営業活動体の換算差額	439	719	409	93.1	△30
キャッシュ・フロー・ヘッジ	2	△0	1	87.5	△0
小計	441	719	410	93.1	△31
その他の包括利益合計	475	790	411	86.5	△64
四半期（当期）包括利益	684	1,228	526	76.9	△158
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	678	1,215	517	76.2	△161
非支配持分	6	13	9	156.2	3

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	283	160	△123
減価償却費及び償却費	98	101	3
減損損失	21	—	△21
運転資本の増減額（△は増加）	△223	△249	△25
利息及び配当金の受取額	22	29	7
利息の支払額	△3	△6	△3
法人所得税の支払額	△24	△61	△37
その他	△47	△60	△13
営業活動によるキャッシュ・フロー	126	△86	△212
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△70	△36	34
無形資産の取得による支出	△16	△10	6
有形固定資産・無形資産の売却による収入	0	95	95
共同支配企業に対する投資による支出	—	△3	△3
金融資産の取得による支出	△34	△11	23
金融資産の売却・償還による収入	3	1	△3
小計<資本的支出等（キャッシュベース）>	△116	35	152
3カ月超預金の預入による支出	△0	—	0
3カ月超預金の払戻による収入	0	0	0
その他	1	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	36	152
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	201	225	24
長期借入金の返済による支出	△100	△0	100
リース負債の返済による支出	△22	△25	△3
自己株式の取得による支出	△0	△85	△85
配当金の支払額	△230	△230	△0
その他	△4	△5	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155	△119	36
現金及び現金同等物に係る換算差額	164	161	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	20	△7	△27
現金及び現金同等物の期首残高	2,674	3,047	373
現金及び現金同等物の期末残高	2,693	3,039	346

フリー・キャッシュ・フロー	10	△50	△60
---------------	----	-----	-----

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

<p>■営業活動によるキャッシュ・フロー 運転資本は、パートナー等に対する未払費用の支払いや「レケンビ」等についての棚卸資産の増加などにより増加</p> <p>■投資活動によるキャッシュ・フロー フランスにおいて、2024年3月に一部製品の販売権を譲渡したことによる一時金を受領</p> <p>■財務活動によるキャッシュ・フロー 短期借入金が増加した一方で、自己株式の取得および配当金の支払いを実施</p>
---

## 8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2023年度		2024年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	86	248	46	△40	525
有形固定資産	70	143	36	△34	160
無形資産	16	105	10	△6	365
減価償却費及び償却費	98	394	101	3	400
有形固定資産	55	224	57	2	220
無形資産	42	170	44	1	180

## 9. 連結財政状態計算書

### <資産の部>

(億円、%)

	2023年度		2024年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,649	11.8	1,654	11.6	100.3	5
のれん	2,364	17.0	2,513	17.7	106.3	150
無形資産	855	6.1	830	5.8	97.0	△25
その他の金融資産	577	4.1	596	4.2	103.4	19
その他	256	1.8	259	1.8	101.2	3
繰延税金資産	1,008	7.2	1,019	7.2	101.1	11
非流動資産合計	6,708	48.1	6,870	48.4	102.4	162
流動資産						
棚卸資産	1,747	12.5	1,906	13.4	109.1	159
営業債権及びその他の債権	2,172	15.6	2,054	14.5	94.5	△119
その他の金融資産	4	0.0	9	0.1	212.8	5
その他	260	1.9	324	2.3	124.5	64
現金及び現金同等物	3,047	21.9	3,039	21.4	99.8	△7
流動資産合計	7,230	51.9	7,332	51.6	101.4	102
資産合計	13,938	100.0	14,202	100.0	101.9	264

### <コメント>

#### ■資産の部

(のれん)

円安の進行に伴う増加

(棚卸資産)

「レケンビ」等の生産を進めたことによる在庫の増加



## 10. 連結四半期業績の推移

### 1) 損益計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,969	1,766	1,777	1,905	1,890
売上原価	439	364	389	361	398
売上総利益	1,530	1,402	1,388	1,544	1,493
販売費及び一般管理費	861	928	922	1,034	995
販売費	450	500	466	523	513
人件費	260	287	303	326	327
管理費他	151	141	153	185	156
研究開発費	411	416	417	445	417
その他の収益	6	1	6	106	55
その他の費用	4	5	△6	12	1
営業利益	260	54	61	159	134
金融収益	28	26	23	31	33
金融費用	5	6	4	8	7
税引前四半期利益	283	74	80	181	160
法人所得税	74	41	14	51	45
四半期利益	209	33	66	130	115
四半期利益の帰属					
親会社所有者	203	28	60	133	106
非支配持分	6	5	7	△3	9
四半期包括利益	684	172	△192	563	526
EPS (円)	70.92	9.73	20.81	46.40	36.95

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

## 2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	126	166	87	181	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	△43	△64	△30	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155	△55	76	△93	△119
現金及び現金同等物の期末残高	2,693	2,815	2,848	3,047	3,039
フリー・キャッシュ・フロー	10	123	23	149	△50

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

## 3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2023年度				2024年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額（キャッシュベース）	86	34	76	53	46
有形固定資産	70	24	15	34	36
無形資産	16	9	61	19	10
減価償却費及び償却費	98	98	99	100	101
有形固定資産	55	56	56	57	57
無形資産	42	42	43	43	44

## 4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	13,051	13,340	13,112	13,938	14,202
資本	8,677	8,848	8,427	8,990	9,197
親会社の所有者に帰属する持分	8,449	8,617	8,189	8,756	8,958
負債	4,374	4,491	4,685	4,948	5,006
借入金	1,362	1,332	1,663	1,594	1,823
親会社所有者帰属持分比率（%）	64.7	64.6	62.5	62.8	63.1
負債比率（Net DER／倍）	△0.19	△0.20	△0.17	△0.19	△0.16

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2023年度				2024年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ニューロロジー領域製品計	367	342	378	370	443
デエビゴ (不眠症治療剤)	94	100	118	106	121
日本	81	86	99	89	102
アメリカス	10	12	16	14	15
フィコンパ (抗てんかん剤)	81	55	61	62	74
日本	18	17	18	16	19
中国	26	1	2	7	9
EMEA	31	30	33	34	40
アジア・ラテンアメリカ	5	5	5	4	5
アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)	62	64	67	62	69
中国	16	17	19	18	21
アジア・ラテンアメリカ	32	34	35	34	38
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	78	72	70	64	66
日本	25	24	25	20	22
中国	38	33	27	28	30
アジア・ラテンアメリカ	10	11	12	11	9
レケンビ (アルツハイマー病治療剤)	1	3	11	28	63
日本	—	—	0	3	15
アメリカス	1	3	10	24	46
中国	—	—	—	0	2
その他	53	49	52	47	52

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2023年度				2024年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オンコロジー領域製品計	824	918	837	852	941
レンビマ/Kispilyx (抗がん剤)	708	806	718	745	835
日本	41	41	41	33	34
アメリカス	481	507	533	519	598
中国	69	115	27	58	70
EMEA	90	101	85	105	101
アジア・ラテンアメリカ	26	43	32	29	33
ハラヴェン (抗がん剤)	95	93	99	88	84
日本	21	20	20	18	19
アメリカス	29	31	33	31	27
中国	6	5	4	4	6
EMEA	30	28	33	26	24
アジア・ラテンアメリカ	8	10	9	8	9
その他	22	19	20	20	22

## 11. 主要開発品

NCT: Clinical Trials.gov の識別番号、 JRCT: Japan Registry of Clinical Trials の識別番号  
日: 日本、米: 米国、欧: 欧州、中: 中国、P: Phase(臨床試験段階)  
◎: 2024 年 4 月以降の進捗

### (1) 神経

開発品コード: <b>BAN2401</b> 一般名: <b>レカネマブ</b> 製品名: <b>レケンビ</b>		導入品 (BioArctic AB)	
薬効/作用機序: アルツハイマー病治療剤/抗 A $\beta$ プロトフィブリル抗体		注射剤(点滴静注・皮下注射)	
[概要] アミロイド $\beta$ (A $\beta$ )プロトフィブリルに対する IgG1 抗体です。神経毒性を呈することが報告されている A $\beta$ プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病(AD)の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせます。早期 AD に係る適応で、日本、米国、中国、韓国、香港、イスラエルにおいて承認を取得し、欧州、カナダ、英国(北アイルランドを除く)、オーストラリアなどにおいて承認申請中です。2024 年 7 月、欧州医薬品庁の医薬品委員会(CHMP)は、販売承認申請について否定的な見解を採択し、当社は本見解に対する再審議の請求プロセスを進めています。点滴静注や皮下注射製剤による維持投与の開発が進行中です。Biogen Inc.と共同開発を行っています。			
早期 AD		アジア(韓国) 欧州	◎ 承認(2024 年 4 月) 申請(2023 年 1 月受理)
301 試験(Clarity AD)	NCT03887455		
早期 AD 静注維持投与(用法用量追加)		米国	◎ 申請(2024 年 6 月受理)
201/301 試験	NCT01767311/NCT03887455		
早期 AD 皮下注射製剤維持投与(剤形追加)		米国	◎ 段階的申請(2024 年 5 月開始)
301 試験	NCT03887455		
プレクリニカル AD(効能効果追加)		日米欧	PⅢ
303 試験(AHEAD 3-45)	NCT04468659		
開発品コード: <b>E2007</b> 一般名: <b>ペランパネル</b> 製品名: <b>フィコンパ</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗てんかん剤/AMPA 受容体拮抗剤		経口剤・注射剤	
[概要] グルタミン酸による AMPA 型グルタミン酸受容体の活性化を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。また、日本、中国では、単剤療法の承認も取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。欧州および中国では、経口懸濁液の承認を取得しています。日本では、細粒剤および注射剤の承認を取得しています。2023 年 1 月、米国における権利を譲渡しました。			
てんかんの強直間代発作の併用療法(効能効果追加)		中国	◎ 承認(2024 年 4 月)
332 試験	NCT01393743		
開発品コード: <b>E2006</b> 一般名: <b>レンボレキサント</b> 製品名: <b>デエビゴ</b>		自社品	
薬効/作用機序: 不眠症治療剤/オレキシン受容体拮抗剤		経口剤	
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。不眠症に係る適応で、日本、米国、アジアなどにおいて承認を取得しています。			
不眠症		中国	申請(2024 年 1 月受理)
311 試験	NCT04549168		
開発品コード: <b>E0302</b> 一般名: <b>メコバラミン</b>		自社品	
薬効/作用機序: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療剤		注射剤	
[概要] 末梢性神経障害治療剤として広く使われているメコバラミンの承認用量の 100 倍(1 回投与量として)の高用量製剤です。			
ALS		日本	申請(2024 年 1 月)
JETALS(医師主導試験)	NCT03548311		

開発品コード: <b>E2023</b> 一般名: <b>lorcaserin</b>		導入品 (Arena Pharmaceuticals)	
薬効/作用機序: ドラベ症候群治療剤/セロトニン 2C 受容体作動剤		経口剤	
<p>[概要] 選択的に脳内のセロトニン 2C 受容体を刺激することにより、GABA 作動性抑制性インターニューロンを活性化し、GABA を介したシナプス抑制を増加させることでドラベ症候群患者様の発作抑制を期待しています。肥満症治療剤適応の承認を取り下げましたが、ドラベ症候群の患者様団体から要請を受けたことから、米国にて延長アクセスプログラムを継続し、さらに、適応症取得をめざすフェーズⅢ試験が進行中です。米国食品医薬品局からドラベ症候群に関する希少疾病用医薬品(オーファンドラッグ)の指定を受けています。</p>			
ドラベ症候群		米国	PⅢ
304 試験	NCT04572243		
開発品コード: <b>E2814</b>		共同創出品(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	
薬効/作用機序: 抗 MTBR タウ抗体		注射剤	
<p>[概要] 当社とユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗微小管結合領域(Microtubule binding region: MTBR)タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット(DIAN-TU)が実施する臨床試験(フェーズⅡ/Ⅲ試験 Tau NexGen)において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定されました。</p>			
優性遺伝 AD		日米欧	PⅡ/Ⅲ
Tau NexGen 試験	NCT05269394		
優性遺伝 AD		米欧	PⅠb/Ⅱ
103 試験	NCT04971733		
開発品コード: <b>E2511</b>		自社品	
薬効/作用機序: TrkA 統合シナプス再生剤		経口剤	
AD		米国	PⅠ
開発品コード: <b>E2025</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗 EphA4 抗体		注射剤	
AD		米国	PⅠ
開発品コード: <b>E2086</b>		自社品	
薬効/作用機序: オレキシン受容体作動薬		経口剤	
ナルコレプシー		米国	PⅠb
開発品コード: <b>EA4017</b>		自社品	
薬効/作用機序: —		経口剤	
がん化学療法に伴う末梢神経障害(EA ファーマが開発)		日本	PⅠ

(2)がん

開発品コード: <b>E7080</b> 一般名: <b>レンパチニブ</b> 製品名: <b>レンビマ</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/キナーゼ阻害剤		経口剤	
<p>[概要] 血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) である VEGFR1、VEGFR2、VEGFR3 や線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) の FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4 に加え、血小板由来増殖因子受容体 (PDGFR) の PDGFR<math>\alpha</math>、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼに対する選択的阻害活性を有する、経口投与可能な自社創製のマルチキナーゼ阻害剤です。単剤療法として、甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。肝細胞がん (ファーストライン) に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しており、胸腺がんに係る適応で、日本において承認を取得しています。エベロリムスとの併用療法では、腎細胞がん (セカンドライン) に係る適応で、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しています。ペムプロリズマブとの併用療法では、腎細胞がん (ファーストライン) に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しており、子宮内膜がん (全身療法後) に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認 (一部の条件付き承認の国を含む) を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応においては、Kisplyx の製品名で発売しています。Merck &amp; Co., Inc., Rahway, NJ, USA (米メルク社) と共同開発を行っています。</p>			
抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発 (効能効果追加)			
肝細胞がん (肝動脈化学塞栓療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-012 試験	NCT04246177		
食道がん (化学療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-014 試験	NCT04949256		
胃がん (化学療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-015 試験	NCT04662710		
頭頸部がん・セカンドライン		米欧	P II
LEAP-009 試験	NCT04428151		
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発 (効能効果追加)			
肝細胞がん		日本	P I b

  

開発品コード: <b>E7389</b> 一般名: <b>エリ布林</b> 製品名: <b>ハラヴェン</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤		注射剤	
<p>[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて乳がんに係る適応で承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて脂肪肉腫 (日本では悪性軟部腫瘍) に係る適応で承認を取得しています。</p>			
単剤療法 (剤形追加)			
リポソーム製剤		日欧	P I
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発 (剤形追加)			
リポソーム製剤		日本	P I b/II
120 試験	NCT04078295		

  

開発品コード: <b>E7090</b> 一般名: <b>タスルグラチニブ</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/FGFR1、FGFR2、FGFR3 阻害剤		経口剤	
<p>[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子 (FGF) 受容体 (FGFR1、FGFR2、FGFR3) 選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。FGFR2 融合遺伝子を有する切除不能な胆道がんを予定される効能または効果として、厚生労働省よりオーファンドラッグに指定されています。</p>			
FGFR2 融合遺伝子を有する胆道がん		日本	申請 (2023 年 12 月)
201 試験	NCT04238715		
乳がん		日本	P I b

開発品コード: <b>MORAb-202</b> 一般名: <b>farletuzumab ecteribulin (FZEC)</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/葉酸受容体 $\alpha$ をターゲットとする抗体薬物複合体 (ADC)		注射剤	
[概要] 抗葉酸受容体 $\alpha$ 抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合した ADC です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体 $\alpha$ 陽性の子宮内膜がん、卵巣がん、肺がん、乳がんなどへの治療効果を期待しています。2024 年 6 月、Bristol Myers Squibb とのグローバルな共同開発・共同販促契約を終結し、当社単独でのグローバル開発・商業化に移行しました。			
非小細胞肺がん		米欧	P II
203 試験	NCT05577715		
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん		日米欧	P II
205 試験	NCT05613088		
固形がん		米欧	P I / II
201 試験	NCT04300556		

開発品コード: <b>BB-1701</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/HER2 をターゲットとする ADC		注射剤	
[概要] 抗 HER2 抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合した ADC です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、HER2 陽性の乳がんなどへの治療効果を期待しています。Bliss Biopharmaceutical (Hangzhou) Co., Ltd. と戦略的提携に向けたオプション権を有する共同開発契約を締結しています。			
乳がん		日米	P II
205 試験	NCT06188559		

開発品コード: <b>E7386</b>		共同創出品 (PRISM BioLab)	
薬効/作用機序: 抗がん剤/CBP/ $\beta$ -catenin 相互作用阻害剤		経口剤	
[概要] CREB-binding protein (CBP) と $\beta$ -catenin のタンパク質-タンパク質相互作用を阻害し、Wnt シグナルに依存した遺伝子発現を調節します。Wnt シグナルに依存した腫瘍増殖の抑制を期待しています。			
固形がん (ベムプロリズマブとの併用療法)		日米欧	P I b / II
201 試験	NCT05091346		
固形がん		日米欧	P I
固形がん (レンバチニブとの併用療法)		日米欧	P I b

開発品コード: <b>H3B-6545</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/ER $\alpha$ 阻害剤		経口剤	
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体 (ER) $\alpha$ 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER $\alpha$ をともに阻害します。ER 陽性/HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。			
乳がん (CDK4/6 阻害剤パルボシクリブとの併用療法)		米欧	P I b

開発品コード: <b>E7130</b>		共同創出品 (ハーバード大学)	
薬効/作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		日本	P I

開発品コード: <b>E7766</b>		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		米欧	P I b

### (3) グローバルヘルス

開発品コード: <b>E1224</b> 一般名: <b>ホスラブコナゾール</b>	自社品
薬効/作用機序: 抗真菌剤/エルゴステロール合成阻害剤	経口剤
<p>[概要] 独立非営利財団 Drugs for Neglected Diseases initiative (DNDi) と、世界で最も顧みられない病気の一つであるマイセトーマ (菌腫) の内、特にアンメットメディカルニーズの高い真菌性菌腫 (eumycetoma) に対する新規治療薬として共同開発を行っています。当社は非臨床試験および治験薬の提供などを担当しています。本剤のフェーズ II b/III 試験は、スーダンにて DNDi およびスーダンのハルツーム大学菌腫研究センターにより行われました。現在、スーダンにおける承認申請に向けた準備を進めています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) の助成を受けています。</p>	

開発品コード: <b>SJ733</b>	共同開発品 (ケンタッキー大学)
薬効/作用機序: 抗マラリア剤/ATP4 阻害剤	経口剤
<p>[概要] マラリア蔓延地域での治療に適した、即効性と安全性に優れ、持続的な治療と再発防止を可能とし、現在問題となっている既存の抗マラリア薬への耐性を克服する薬剤となることを期待しています。ケンタッキー大学と共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズ II 試験は、ペルーにてケンタッキー大学により行われています。GHIT Fund の助成を受けています。</p>	

開発品コード: <b>AWZ1066S</b>	共同開発品 (リバプール熱帯医学校)
薬効/作用機序: 抗フィラリア剤/抗ボルバキア作用	経口剤
<p>[概要] リバプール熱帯医学校およびリバプール大学と、主なフィラリア症であるリンパ系フィラリア症および河川盲目症に有効な新規フィラリア駆虫薬創出に向けた共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズ I 試験は、英国にてリバプール熱帯医学校により行われています。GHIT Fund および英国 Medical Research Council の助成を受けています。</p>	

### (4) 消化器

開発品コード: <b>AJG555</b> 製品名: <b>モビコール配合内用剤</b>	導入品 (Norgine)	
薬効/作用機序: 慢性便秘症治療剤/ポリエチレングリコール製剤	経口剤	
<p>[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。日本において、2 歳以上の小児および成人の慢性便秘症の治療を適応として承認を取得しています。EA ファーマが開発しています。</p>		
慢性便秘症 2 歳未満適応 (用法用量追加)	日本	P III
CT3 試験	jRCT2031230142	

開発品コード: <b>AJM347</b>	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
炎症性腸疾患 (EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc. と共同開発)	欧州	P I

開発品コード: <b>EA1080</b>	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
炎症性腸疾患 (EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc. と共同開発)	欧州	P I

開発品コード: <b>EA3571</b>	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
非アルコール性脂肪肝炎 (EA ファーマが開発)	日本	P I

(5) その他

開発品コード: <b>FYU-981</b> 一般名: <b>ドチヌラド</b>		導入品(富士薬品)	
薬効/作用機序: 痛風・高尿酸血症治療剤/選択的 URAT1 阻害剤		経口剤	
[概要] 尿酸トランスポーターの 1 つである URAT1 を選択的に阻害し、腎臓での尿酸の再吸収を妨げ、尿中への尿酸排泄を促進します。その他のトランスポーターなどへの影響が少ないため、より少ない用量で血清尿酸値を低下させ、副作用や薬物相互作用のリスクが低いことが期待されています。日本においては、2020 年 1 月に富士薬品が製造販売承認を取得しています。2020 年 2 月に中国、2021 年 8 月に ASEAN5 カ国における開発・販売に関するライセンス契約を富士薬品と締結しました。			
痛風・高尿酸血症	アジア (フィリピン)		申請(2023 年 9 月)
痛風	中国		申請(2024 年 1 月受理)
301 試験		NCT05007392	
開発品コード: <b>E6742</b>		自社品	
薬効/作用機序: 全身性エリテマトーデス(SLE)治療剤/TLR7/8 阻害剤		経口剤	
[概要] 自然免疫系の受容体である Toll 様受容体(TLR)は、活性化により炎症反応や抗ウイルス応答を引き起こします。本剤は SLE の発症機序に関連しているとされる TLR7/8 の経口選択的阻害剤です。国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)に採択されています。			
SLE	日本		P I / II
101 試験		NCT05278663	
開発品コード: <b>E8001</b>		自社品	
薬効/作用機序: —		注射剤	
臓器移植に伴う拒絶反応	日本		P I